

# 兵庫県・六甲山登山（931m） 近代登山の先駆者(藤木九三氏)の足跡を訪ねて

日程 2012年11月19日～21日

参加 石川誠 他1名

11/19日（月）

たまには列車でと、のんびり品川から新幹線で新大阪経由六甲山の麓神戸三ノ宮へ。

新大阪で新たな発見をしたことは、エスカレーターに乗って関東では階段の左側に乗り、右側を開けるが、関西では右側に乗って左側を急ぐ人のために開放していた。関西圏と関東圏の生活習慣の違いはどこから来るのだろうか？

11/20日（火）

芦屋川駅 8:30 発 - 9:15 高座ノ滝茶屋 9:30 - 10:40 風吹岩 11:00 - 12:30 雨ヶ峠 12:40 - 13:10 七曲下 13:15 - 14:00 一軒茶屋 14:15 - 14:20 六甲山頂上 14:30 - 15:30 有馬温泉 着

三ノ宮から阪急神戸線で芦屋川駅 8時30分に降り立つ。

駅前には丁度、紅葉の時期ということで六甲山に向かう多くの登山者が居てその混雑ぶりに驚く。

軽く準備運動して芦屋川沿いの道を登りだす。周りはさすが芦屋 ということで高級な邸宅が道沿いに展開する。川沿いの桜並木も紅葉していて素晴らしい。道は六甲山へと急坂が続いている。

30分ほど歩くと高座の滝があるロックガーデン入り口となっていた。

ここにはRCCの創立者でもあり、近代登山の祖と言われた(藤木九三氏)のレリーフが滝の横に据えられていた。

毎年9月末の日曜日に山仲間集まって藤木祭が開催されているとのことである。

六甲山の岩場は関西岳人のロッククライミングのトレーニング場として、三重の御在所岳と共に有名な場所でもある。



この日はちょうど麓にある甲南中学・高等学校の年間恒例行事である六甲山集団登山ということで、多くの中高生が登ってきていた。この行事には全校生徒 1200名が集団登山するとのこと登山道があふれかえっている。

ちなみに甲南中学、高校は大正8年に創立され、芦屋に男子高、女子高と別々にあるとのこといずれも歴史ある名門校である。

男子校生徒たちは高校3年生がリーダー格で中学1年生まで班別行動、礼儀正しく良く下級生を指導しながら行動していたのに好感が持てた。コースは、私たちと同じコースを辿り、有馬温泉に下るとのこと、元気よく「お先失礼します」と声掛けし抜かしていった。中には下級生に向けてちゃんと挨拶しろと指導していたのには、まだ高校生も見捨てたものではないなと感心した。

甲南というと甲南大学山岳会のOBである雨宮氏には会の部報「山嶽寮」をご送り戴き感謝しています。



「藤木九三氏レリーフ」



「ロックガーデンを登る甲南中高生達」

高座の滝を過ぎて風吹岩には1時間ほどロックガーデンの名のとおり梯子や鎖場のある岩場の登山道を登って行く。

風吹岩はちょっとした広場で眼下には神戸、大阪方面の街並みが開けていた。

風吹岩から軽い下り打越峠への分岐を過ぎ、此处から登りとなって雨ヶ峠に着く。

峠は東屋がある広場となっていて良い休憩場所となっている。



登山中に山の中で熊やカモシカなどに会ったことはあったが、今回は林の中を歩いている野生のイノシシの親子に会い、初めての体験でもあり驚いた。

ここで東お多福山への道を分け下り気味に本状橋を渡り七曲下りに到着する。此处から七曲りという急な登山道を登って1時間ほどで一軒茶屋に到着する。

此处では三々五々到着した甲南中学・高校の大勢の生徒達が昼食を摂っている。

昼食後六甲の最高峰、六甲山頂上に向かう。稜線にはハイウエーが通り頂上という感じがしないが、日本300名山のひとつとな

っている。六甲山の標高は平成7年1月に発生した「阪神淡路大震災」の隆起により12cm高くなり現在の標高となったとのことである。

頂上からまた一軒茶屋に戻り有馬温泉への登山道を下って行く。登山道の途中から筆屋道、炭屋道を分け魚屋道(トヤマチ)を下り有馬温泉へと降りてゆく。

この道は2m程の幅で森林浴を楽しみながら下れる歩きやすい道で古から瀬戸内海の魚を有馬温泉へと運んだ道とのことで魚屋道と名付けられ、周囲には赤松やブナの木が繁茂し紅葉も進んで長閑な良い登山道である。しばらく登山道を下りて車道に入ると有馬温泉となる。



「紅葉真っ盛り」

有馬温泉は関西の奥座敷、日本最古泉とも言われ、紅葉が最高潮で素晴らしく草津、下呂と並んで日本三大名湯の一つと謳われている。



11/21日(水)

宿では温泉三昧、久しぶりにゆっくりとして山の疲れをいやす。癒すといっても大して歩いてはいないのだが、のんびりとした時間を過ごすことが出来た。

宿の送迎車で下のバス停迄送って貰い、大阪阪急梅田行きのバスに乗り込む。1時間ほど揺られ大阪梅田の繁華街で本を買い、昼はステーションビルでピザと、スパゲッティなどを頼んで午後の新幹線の出発時間まで過ごす。

幸い3日間は曇り時々晴れといった処だが雨にも降られず、一度は登って見たかった六甲山から有馬温泉への道を楽しむ山行(ハイキング)となった。



「色鮮やか紅葉とねねの像」

記 石川